

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

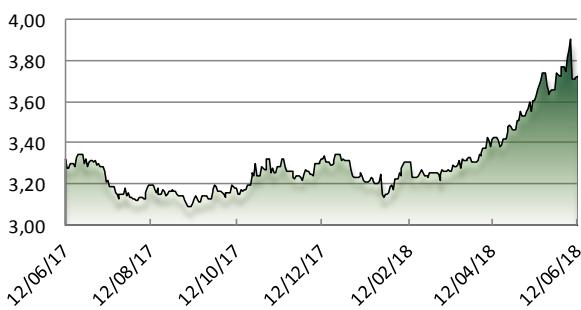
ドルレアルスポット相場は依然としてブラジル中銀のスワップ介入頼みの展開となっており、昨日のレアル相場も1本目の入札(3万枚=15億ドル相当)を消化すると徐々にレアル売り圧力が高まり、一時3.72台後半までレアル安が進行した。マーケットでは、仮に昨日の入札が3万枚に留まつた場合、先週7日の介入プログラム公表以降の合計入札額が92.5億ドルに留まり、残り3営業日で152.5億ドルの入札を実施する必要があることから、1日当たりの入札額を増額する状況に中銀が追い込まれるとの観測が強まっていた(中銀が本当に245億ドルの流動性を供給する意志があるのか、中銀のマーケットとのコミュニケーション方法に疑義が高まっていた)。そのような状況の中、中銀が追加で3万枚の入札を通知したため、レアルも安心感から一時3.67台前半まで上昇。しかし、レアル売り圧力は依然として燻っており、引けにかけては再びレアル売りが優勢に。最終的に3.71台後半で取引を終えている。中銀が積極的な介入姿勢を通じて相場のボラティリティを押さえ込むことで、来週19-20日に予定しているCOPOMまで時間を買っている状況であるが、マーケットの一部で観測されている利上げという手段を中銀が採用する気配は全く感じられない。Goldfajn中銀総裁はEstado紙とのインタビューに対して、「金融政策を為替の安定化に利用することはない」と改めて強調。今後の介入姿勢についても、「将来について言及することはない」と明示を避けた他、「介入の目的は相場の流動性を高める」とで、先週のような混乱を回避することであるとの見解を繰り返した。

マーケットデータ

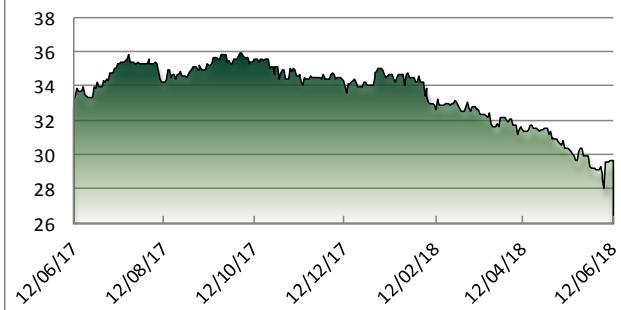
Indicator		Unit	6月11日	6月12日	前日比	1ヶ月前比	(年初来)高値	(年初来)安値
レアル	対ドル	BRL	3,7114	3,7193	0,21%	3,31%	3,1210	3,9672
	対円	JPY	29,65	29,67	0,07%	-2,34%	35,13	27,63
	対ユーロ	BRL	4,3739	4,3694	-0,10%	1,62%	3,8531	4,6831
円	対ドル	JPY	110,03	110,37	0,31%	0,90%	104,56	113,39
	対ユーロ	JPY	129,67	129,64	-0,02%	-0,76%	124,62	137,50
Bovespa (ブラジル株価指数)	Index		72.308	72.754	0,62%	-14,63%	88.318	71.162
CDS Brazil 5yrs	bps		253,90	264,72	4,26%	43,17%	267,50	142,50
Brazil 10yrs Gov. Bond	%		11,64	11,69	0,43%	16,09%	12,40	9,43
DI Future Jan19 (金利先物)	%		7,19	7,15	-0,56%	13,22%	7,88	6,21
3 Months US Dollar Libor	%		2,3326	2,3326	0,00%	-0,42%	2,3691	1,6959
CRB Index (国際商品指数)	Index		199,39	200,14	0,38%	-1,68%	206,95	187,35

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート



〈オプスマン連絡先: 0800 722 2762〉

本レポートは情報の提供目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。